

令和8年度ひなた創生のための奨学金返還支援事業広報業務 企画提案競技審査基準表

| 大項目         | 中項目        | 審査項目          | 審査の視点                                                                   | 最高点 |
|-------------|------------|---------------|-------------------------------------------------------------------------|-----|
| ①企画提案内容     | 業務理解・基本方針  | 業務目的等の理解      | 本業務の目的、奨学金返還支援事業の内容及び支援企業を周知する必要性を十分に理解した提案となっているか。                     | 5   |
|             |            | 広報の基本方針       | 県内外の学生等及びその保護者への周知を図り、県内の産業人材の確保・定着につなげるための考え方が明確かつ妥当であるか。              | 5   |
|             | 広報戦略       | ターゲットに応じた広報   | 県内の保護者及び県外の若者の特性を踏まえ、それぞれに適した広報内容及び方法となっているか。                           | 5   |
|             |            | 配信対象地域        | 県外の若者に係る配信対象地域について、進学割合その他の客観的なデータに基づく効果的かつ妥当な提案となっているか。                | 5   |
|             |            | 媒体構成・媒体選定     | LINE広告その他のウェブ・SNS等について、各媒体の特性、ターゲット及び広告効果を踏まえた効果的な媒体構成となっているか。          | 10  |
|             |            | 予算配分          | 広告配信費、コンテンツ制作費及び広告運用費等の配分が、目標達成に向けて効果的かつ妥当であるか。                         | 5   |
|             |            | 配信計画          | 配信時期、配信期間及び配信方法が、ターゲットへの訴求及び広告効果の確保に適したものとなっているか。                       | 5   |
|             | 広告用コンテンツ   | 動画の企画内容       | 短尺動画について、当該事業の概要を分かりやすく伝え、視聴者の関心を引き、県ホームページの事業紹介ページ等への誘導につながる企画となっているか。 | 10  |
|             |            | 静止画・広告文等の企画内容 | 静止画、広告文その他の広告用コンテンツについて、ターゲット及び媒体の特性を踏まえた、分かりやすく訴求力のある内容となっているか。        | 5   |
|             |            | 複数媒体への展開・継続利用 | 媒体ごとの規格等に応じた編集・加工が可能であり、複数媒体での活用及び県による継続的な利用に配慮した提案となっているか。             | 5   |
|             | 目標達成・効果検証  | 数値目標達成の実現性    | 表示回数延べ100万回以上及びクリック数4万件以上の目標について、達成に向けた考え方、実施方法及び積算根拠が具体的かつ実現可能であるか。    | 5   |
|             |            | 効果測定・分析       | 媒体別の表示回数、クリック数、クリック率その他の成果指標を適切に把握し、広告効果を分析する方法が具体的かつ妥当であるか。            | 5   |
|             |            | 配信中の改善        | 実施状況及び成果を踏まえ、広告内容、配信対象、配信地域、コンテンツ及び予算配分等を改善する方法が具体的かつ実効性のあるものとなっているか。   | 5   |
| ①企画提案内容 小計  |            |               |                                                                         | 75  |
| ②運営体制・積算    | 運営体制       | 業務実施体制・専門性    | コンテンツ制作、広告運用、効果分析及び県との調整を確実に行うための人員、役割分担、連絡体制、実績及び専門性を有しているか。           | 5   |
|             | スケジュール     | 業務スケジュール      | 県との協議、コンテンツ制作、確認、納品、広告配信、効果検証及び報告まで、計画的かつ実現可能なスケジュールとなっているか。            | 5   |
|             | 積算         | 経費積算の妥当性      | 広告配信費、コンテンツ制作費、広告運用費、効果分析費、印刷費その他の経費区分及び金額が明確で、提案内容に照らして妥当であるか。         | 5   |
|             | 価格         | 提案価格の優位性      | 5段階評価＝5×最も低い見積額÷審査対象者の見積額とする。                                           | 5   |
| ②運営体制・積算 小計 |            |               |                                                                         | 20  |
| ③独自提案       | 独自提案の付加的価値 | 独自提案の有効性      | 仕様書に定める業務に加え、本業務の目的達成又は広報効果の向上に資する、実現可能で有効な独自提案があるか。                    | 5   |
| ③独自提案 小計    |            |               |                                                                         | 5   |
| 総計          |            |               |                                                                         | 100 |

| 5段階評価基準 |              |
|---------|--------------|
| 評価      | 評価基準         |
| 5       | 標準より非常に優れた提案 |
| 4       | 標準より優れた提案    |
| 3       | 標準的な提案       |
| 2       | 標準よりやや劣る提案   |
| 1       | 標準より劣る提案     |